

ConsoleDA Agent インストールガイド

マニュアルはよく読み、大切に保管してください。 製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。 このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

-目次-

1 C	onsoleDA Agent インストールの前に	1
1-1	注意事項	.1
1-2	.NET Framework3.5 のインストール	.1
2 C	onsoleDA Agent のインストール	3
2-1	インストール	.3
2-2	サイレントインストール	.6
3 C	onsoleDA Agent のアンインストール	7
3-1	アンインストール	. 7
3-2	サイレントアンインストール	.8
4 環	環境設定ファイル	9

重要なお知らせ(注意事項)

- 本書をよくお読みになってから、製品をご使用ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部、または全てを無断で転載することを禁止します。

Copyright © Hitachi, Ltd. 2013 all rights reserved.

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国に おける登録商標または商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他、会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

以下、説明用画面は全て Windows® XP 上で実行したときのイメージです。

1 ConsoleDA Agent インストールの前に

1-1 注意事項

- 本セットアッププログラムはクライアントブレードにインストールしてください。
- セットアッププログラムでインストールされるプログラムは、下記以外での動作を保証しておりません。
 - Windows® 8.1 64bit
 - Windows® 8 64bit
 - Windows® 7 SP1 32bit/64bit
 - Windows Vista® SP2 32bit
 - Windows® XP SP3 32bit
- ConsoleDA Agent のインストールを実行するには、インストールするクライアントブレードに管理者権限を持つユーザーでログ オンしてください。
- Windows Vista®以降の環境にインストールまたはアンインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」が表示されることがあります。「許可」または「続行」をクリックして、セットアップを続行してください。
- 本ソフトウェアは、クライアントブレードの動作 OS 環境が工場プレインストールまたは「Product Recovery」DVD-ROM を使用して構築した OS 環境での使用を前提としています。それ以外でご使用される場合は動作保証外となりますが、「Drivers DVD」 DVD-ROM に含まれる「IPMI ドライバ」や「FLORA bd ハードウェアモニタ」ソフトウェアを OS にインストールしていただく必要があります。
- ConsoleDA Agent をインストールした後で SAVINGDA Pro をインストールした場合、インストール直後は SAVINGDA Pro との 連携機能はご使用できません。この場合は、クライアントブレードの再起動を行ってください。

1-2 .NET Framework3.5 のインストール

インストールする OS 環境によっては、下記要件のインストール画面が表示される場合があります。これらの画面が表示された場合は、 「インストール」をクリックして要件のインストールを行ってください。

ステータス		
寺機中 寺機中	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 (x86) Language Pack - Japanese	
.1 0% 1		

くWindows® 8、Windows® 8.1の場合>

手動で.NET Framework 3.5 をインストールする必要があります。インターネットに接続されている場合は、コントロールパネルの「プログラムの機能」-「Windows の機能の有効化または無効化」で.Net Framework 3.5 を有効化してください。

インターネットに接続されていない場合は、OS インストールメディアや ISO イメージを用意していただく必要があります。OS インストール メディアや ISO イメージをマウントして、コマンドプロンプトより下記コマンドを実行してください。(マウント先のドライブによって「E:¥」の部 分を変更してください。)

Dism.exe /online /enable-feature /featurename:NetFX3 /All /Source:E:¥sources¥sxs /LimitAccess

.NET Framework 3.5 をインストールせずにセットアップを実行しますと、下記のエラーが表示されます。



2 ConsoleDA Agentのインストール

ConsoleDA Agent は、インストールされたクライアントブレードの電源状態や各種情報を ConsoleDA Manager に送信するプログラムです。

2-1 インストール

・ConsoleDA Agent をインストールするには、次のように操作します。

1. Hitachi bd Link Version3 /CB インストールメディアの「Installer」フォルダーにある AgentSetup.exe を実行し、「次へ(N)>」をクリック してください。



2. 「使用許諾契約」では使用許諾契約書内容をご確認の上、同意する場合は「はい(Y)>」をクリックしてください。

onsoleDA Agent - InstallShield Wizard 使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
使用許諾契約書	~
お客様へ	
「使用許諾契約書」を必ずお読みください。 本ソフトウェアのインストール、または使用をも 書」をご承諾いただき、使用許諾契約が成立したも 承達頂けない場合は、ホソフトウ・アのインストー	って、本「使用許諾契約 のとさせていただきます・ご □し 使用を許諾できません、 ❤
使用許諾契約の全条項に同意しますか? [いいえ]を選択するとセット?・ ConsoleDA Agent をインストールするには、この使用許諾契約に同意が tallShield	/プが終了されます。 必要です。

3. 「ネットワーク設定」では ConsoleDA Agent で使用するネットワークの設定を入力し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

ConsoleDA Agent - InstallShield Wizard	
ネットワーク設定 ConsoleDA Agentのネットワーク設定を入力してください。	24
ConsoleDA ManagerのIPアドレス:	
ConsoleDA Managerの受信ポート:	60000
ConsoleDA Agentの受信ポート:	60001
Windows ファイアウォールの設定: 上記のConsoleDA Agentの受信に対応する 元長化構成(オブション) 副ConsoleDA ManagerのIPアドレス: 副ConsoleDA Managerの受信ボート: 	ッファイアウォールの設定を行います。 60000
	戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

入力項目の説明

ConsoleDA Manager の IP アドレス:	ConsoleDA Manager が稼働しているマシンの IP アドレス。
ConsoleDA Manager の受信ポート:	ConsoleDA Manager にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
	1~65535の範囲で指定します。
ConsoleDA Agent の受信ポート:	ConsoleDA Agent がコマンドを受信する TCP ポート番号。
	1~65535の範囲で指定します。
Windows ファイアウォールの設定:	Windows® Firewallをご使用の場合は、チェックするとWindows® Firewallの設定を行い
	ます。
副 ConsoleDA Manager の	冗長化を行っている場合の、副側 ConsoleDA Manager が稼働しているマシンの
	IP アドレス。
副 ConsoleDA Manager の受信ポート:	副側 ConsoleDA Manager にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
	1~65535 の範囲で指定します。

注意	・ ConsoleDA ManagerのIPアドレス欄には、必すIPアドレスを入力してください。			
	・Windows® Firewall以外のセキュリティ製品が提供するFirewallをご使用の場合は、ConsoleDA Agentから			
	ConsoleDA Managerの「受信ポート」(TCPポート)に接続できるよう、設定を調整してください。			
	・ ConsoleDA Managerの冗長化を行っている場合は、副ConsoleDA ManagerのIPアドレス、受信ポートを必ず			
	入力してください。			
	・ ConsoleDA Managerの冗長化機能は、「Hitachi bd Link Version3 /CB」ではお使いいただけません。			
補足	・ 既定値のTCPポートが既に他の製品によって使用されている場合は、他のTCPポートを設定してください。			

4. ConsoleDA Agent をインストールするフォルダーを指定し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

ConsoleDA A	lgent – InstallShield Wizard	
インストールう ファイルをイ	もの選択 シストールするフォルダーを選択してください。	12
	ConsoleDA Agent のインストール先: C¥¥Hitachi¥ConsoleDA Agent¥	
InstallShield —		〈戻る(母) 次へ (10)〉 キャンセル

注意	 ・デプロイ機能をご使用になる場合は、インストール先を変更しないでください。デプロイ機能について詳しく
	は、「Hitachi bd Link Version3 デプロイ機能取扱説明書」を参照してください。

5. 「インストール」をクリックし、インストールを開始してください。

ConsoleDA Agent – InstallShield Wizard 🛛 🛛 🔀
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。
[インストール]をクリックしてインストールを開始してください。
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る]を炒ックします。ウィザートを終了するにには、「キャンセル]を炒ックします。
nstallShield

6. 「InstallShield ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックしてセットアップを終了してください。

ConsoleDA Agent – InstallShield Wizard				
	InstallShield Wizard の完了 セットアッフでは、コンピュータへ ConsoleDA Agent のインストールを終了しました。			
	< 戻る(B) 完了 キャンセル			

2-2 サイレントインストール

ConsoleDA Agent は、GUI の操作を記録したサイレントインストール応答ファイル setup.iss 作成することにより、サイレントモード(GUI なし、ユーザーによる操作なし)によるインストールを行うことができます。

・ConsoleDA Agent のサイレントインストールを行うには、次のように操作します。

- 1. Hitachi bd Link Version3 /CB インストールメディアの Installer フォルダーにある AgentSetup.exe をクライアントブレードの任意の フォルダーにコピーします。
- 2. クライアントブレードに管理者権限を持つユーザーでログオンし、コマンドプロンプトを起動します。
- 3. AgentSetup.exe をコピーしたフォルダーに移動します。
- 4. 「AgentSetup.exe△/r」を入力・実行し ConsoleDA Agent インストーラーを起動します。
 - ※ 応答ファイルの作成先は、コマンドに「/fl"(作成先絶対パス)¥setup.iss"」を追加することで変更可能です。
 - ※ 作成先を変更しない場合は、C:¥windows に setup.iss が作成されます。
 - ※ 作成先に既に setup.iss が存在している場合は、これを削除してから手順 4.を実行してください。
 - 入力コマンド例:

C: $Agent>AgentSetup.exe \triangle /r \triangle /f1"C:Agent&setup.iss"$

- ※ 上記例は、C:¥Agent に応答ファイルを作成する場合のものです。
- ※ △は半角スペースを表します。
- 5. 画面操作に従って ConsoleDA Agent のインストールを行います。
- ConsoleDA Agent のインストール完了後、「C:¥windows」フォルダーに応答ファイル setup.iss が作成されます。 (手順 4.で作成先を指定した場合は、指定先に setup.iss が作成されます。)
- 7. サイレントインストールを実行するマシンに AgentSetup.exe と作成した応答ファイル setup.iss をコピーします。コピーが済みました ら、元の setup.iss は削除しておいてください。
- 8. サイレントインストールを実行するマシンでコマンドプロンプトを実行し、AgentSetup.exeと setup.iss をコピーしたフォルダーに移動 して、以下のコマンドを実行するとサイレントインストールが開始されます。

C:¥Agent≻ AgentSetup.exe∆/s

- ※ 上記例は、インストーラーと応答ファイルを C:¥Agent に配置した場合のものです。
- ※ △は半角スペースを表します。

3 ConsoleDA Agentのアンインストール

3-1 アンインストール

・ConsoleDA Agent をアンインストールするには、次のように操作します。

1. [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]を開き、ConsoleDA Agent を選択して「削除」ボタンをクリックしてください。

🐻 ナログラムの ル	自加と削除		
	現在インストールされているプログラム: 回 更新プログラムの表示(型)	並べ替え(S): 名前	*
プログラムの 変更と削除(出)	1号 ConsoleDA Agent サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。	サイズ 使用頻度 最終使用日 :	0 <u>14MB</u> 低 2009/03/30
プログラムの 追加(N)	コンピュータからこのプログラムを削除まするには、簡単除】をクリックしてください。		削除
	間 High Definition Audio Driver Package - KB889111 倒 Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver		
Windows	Intel(R) PRO Network Connections 12.3.31.0	サイズ	0.06MB
コンポーネントの 追加と削除(A)	🛃 Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2	サイズ	185.00MB
	🛃 Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	6.23MB
	🛃 Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2	サイズ	169.00MB
プログラムの	🛃 Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	9.40MB
既定の設定(2)	뤻 Microsoft .NET Framework 3.5 Language Pack SP1 - 日本語	サイズ	37.05MB
	🛃 Microsoft .NET Framework 35 SP1	サイズ	37.05MB
	B MSXML 4.0 SP2 (KB927978)	サイズ	2.56MB
	闘 MSXML 4.0 SP2 (KB936181)	サイズ	2.62MB
	BXXML 6.0 Parser (KB933579)	サイズ	1.31 MB
	🙀 Realtek High Definition Audio Driver	サイズ	49.39MB 🗸

2. 確認ダイアログが表示されたら「はい(Y)」をクリックして、ConsoleDA Agent をアンインストールしてください。



3. 「アンインストール完了」が表示されたら、「完了」をクリックしてアンインストールを終了してください。



3-2 サイレントアンインストール

・ConsoleDA Agent のサイレントアンインストールを行うには、次のように操作します。

- Hitachi bd Link Version3 /CB インストールメディアの Installer フォルダーにある AgentSetup.exe を、ConsoleDA Agent がインスト ール済みのクライアントブレードの任意のフォルダーにコピーします。
- 2. クライアントブレードに管理者権限を持つユーザーでログオンし、コマンドプロンプトを起動します。
- 3. AgentSetup.exeをコピーしたフォルダーに移動します。
- 4. 「AgentSetup.exe△/r」を入力・実行し ConsoleDA Agent インストーラーを起動します。
 - ※ 応答ファイルの作成先は、コマンドに「/fl"(作成先絶対パス) ¥uninstall.iss"」を追加することで変更可能です。
 - ※ 作成先を変更しない場合は、C:¥windows に setup.iss という名前で応答ファイルが作成されます。
 - ※ 作成先に既に setup.iss または uninstall.iss が存在している場合は、これを削除してから手順 4.を実行してください。

入力コマンド例:

C:\Agent> AgentSetup.exe\/r\/f1"C:\Agent\uninstall.iss"

- ※ 上記例は、C:¥Agent に応答ファイルを作成する場合のものです。
- ※ △は半角スペースを表します。
- 5. 画面操作に従って ConsoleDA Agent のアンインストールを行います。
- 6. ConsoleDA Agent のアンインストール完了後、「C:¥windows」フォルダーに応答ファイル setup.iss が作成されるので、ファイル名を uninstall.iss に変更してください。
- 7. サイレントアンインストールを実行するマシンに AgentSetup.exe と作成した応答ファイル uninstall.iss をコピーします。コピーが済み ましたら、元の uninstall.iss は削除しておいてください。
- 8. サイレントアンインストールを実行するマシンでコマンドプロンプトを実行し、AgentSetup.exeとuninstall.issをコピーしたフォルダー に移動して、以下のコマンドを実行するとサイレントアンインストールが開始されます。

C: $Agent > Agent Setup.exe \land /x \land /s \land /f1"$. $agent Setup.exe \land /x \land /s \land /f1"$.

※ 上記例は、インストーラーと応答ファイルを C:¥Agent に配置した場合のものです。

※ △は半角スペースを表します。

4 環境設定ファイル

環境設定ファイル名:Agent.exe.config

既定のファイルパス:C:¥Program Files¥Hitachi¥ConsoleDA Agent

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

<configuration>

 $<\!\!\text{configSections}\!>$

<section name="agentConfig"</pre>

type="Hitachi.ConsoleDA.Agent.Configuration.AgentConfigSection, Agent.Common,

```
Version=3.1.0.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=null" />
```

 $<\!\!/\text{configSections}\!>$

<agentConfig remotingPort="60001"① modelVersion="0000100510"② logKeepDays="7"③>

<managers>

<manager address="192.168.0.1:60000" (4) />

<manager address="192.168.0.2:60000" (5) />

</managers>

</agentConfig>

<appSettings>

```
<add key="ExcludeMac" value="005056,02004C" )/>
```

</appSettings>

 $<\!\!/\text{configuration}\!\!>$

#	設定項目	既定値(設定範囲)	説明	備考
1	remotingPort	60001(1~65535)	ConsoleDA Agent のコマンド受信用ポート番号。	
2	modelVersion	model-version-string	ConsoleDA Agent が稼働している PC のモデルバージョン文字列。	
3	logKeepDays	7(1以上)	トレースログファイルの保存期間。	単位:日
4	address	manager-ip-address:port	ConsoleDA Manager が稼働する PC の IP アドレスとコマンド 受信用ポート番号。	
5	address	manager-ip-address:port	冗長構成にしている場合、副 ConsoleDA Manager が稼働する PC の IP アドレスとコマンド受信用ポート番号を入力します。	
6	value	005056,02004C	ConsoleDA Manager への通知を行わないMACアドレスの上 6 桁。(仮想 NIC をお使いの場合など、適宜ここに値を設定 してシステム内に同一の MAC アドレス値が存在しないように してください。)	

※項目設定の文字列の大文字と小文字は区別されます。